

なぜ、人間は、お互いが仲良く平和に暮らせないのだろう

いまこの時代も、人種や障がいによって差別や不当な扱いを受けている人々が大勢います。

今作では「すべての人が尊重される社会」をテーマに、『アンネ・フランク』を題材とした作品を制作します。日韓のアーティストに加え、聴覚に障がいのある演者も参加。韓国語・日本語・日本手話の三言語を背景に、文化を超え、言葉に頼らないノンバーバルな演劇を目指します。本番公演終了後には、アーティストと観客との「意見交換会」を実施します。制作過程や感想を共有しながら、新たなコミュニケーションの可能性や演劇による社会包摂について、一緒に考えましょう。

アンネ・フランク

第二次世界大戦中、15歳という短い生涯を送った少女、アンネ・フランク。ユダヤ人であるというだけで、衣食住を制限され自由を奪われたが、アンネは一日一日を懸命に生き、隠れ家の中で日記を書きつづった。そこには、自由を奪われてもなお、未来に希望を失わず、強く生きた少女の姿があった。

8/11
(月・祝)

福岡公演

演出家	チュ・ヘジャ 朱恵子 (招聘アーティスト)	出演	上条拳斗、結城なつ、古澤大輔、狸海、大隅果歩、鈴木玲雄、秋吉零華、秋吉凱翔、永野乙葉、鈴木芽依、野上まり、馬渡裕美、馬渡亜依音、やべかつひさ、中田朋子、湯浦一恵、関岡マーク、隠塚詩織、仲美咲、庄司琴音
振付師	イ・ドンウォン	後援	福岡県手話の会連合会/一般社団法人福岡市ろうあ協会/特定非営利活動法人北九州市聴覚障害者協会/久留米市ろうあ協会/福岡聴覚障害者団体連合会
演出部	中嶋さと、鈴木玲雄	協力	FOURTEEN PLUS14+、スターリーシアター株式会社、Multilingual Theater Fukuoka、福岡ろう劇団博多、藤友里江、九州大学大学院人間環境学研究院宮本聡 (IRRC準備室)

8/29・31
(金)(日)

釜山公演

演出家	中嶋さと (派遣アーティスト)	出演	結城なつ、古澤大輔、鈴木玲雄、秋吉零華、野上まり、キム・ジュンシク、チャン・ヒョンホ、イ・ユジン 他
-----	--------------------	----	--

中嶋さと

所属

●福岡市在住(久留米市出身) 演出家/俳優/脚本家 ●FOURTEEN PLUS 14+ 主宰 ●Multilingual Theater Fukuoka 代表 ●日本演出者協会会員

経歴

2008年 FOURTEEN PLUS 14+ を立ち上げ、演出、脚本を担当。他者との間にある境界線を創作テーマとし、年に1〜2作品の新作を発表。
2013年 韓国のアーティストと共同制作や韓国でのプレゼンテーションを開始。
2022年 聞こえに障がいをもつ人も共に楽しむことの出来る作品創作を開始。
現在は小学校、高校でコミュニケーションに特化した演劇ワークショップ講師も務めている。

受賞歴

2009年 福岡市文化芸術振興財団「創作コンペティション」最優秀作品賞・観客賞
2019年 利賀演劇人コンクール予選 観客賞

朱恵子

所属

●ハナロ公演交流協議会 企画委員 ●ワッタグッタアートフェスティバル実行委員会 ●世界女性舞台芸術祭 推進委員会 実行委員 ●劇団「俳優、観客、そして空間」 常任演出/代表

経歴

2002年 演劇デビュー
2022年 国立釜山国楽院 定期公演『ヤリュ別曲』(協力演出)
劇団「俳優、観客、そして空間」定期公演『山岳気象観測』
2023年 定期公演『死と乙女』
世界女性舞台芸術祭 閉幕作品『マイ・ディア、ヘレン』(協力演出)
2024年 大韓民国演劇祭 出品作『二度目の時間』
定期公演『少年がそうした』 定期公演『マイ・ディア、ヘレン』

受賞歴

2016年 釜山演劇祭出品作品『及第録』優秀作品賞(釜山演劇協会)
2023年 2023 美しい演劇賞(美しい演劇賞 運営委員会)
2024年 第42回大韓民国演劇祭 釜山予選大会大賞受賞(釜山広域市)

お問合せ

筑後広域公園 芸術文化交流施設
〒833-0015 筑後市大字津島1131
TEL : 0942-52-6435
MAIL : info@kyushu-geibun.jp

交通案内

●JR 九州新幹線/鹿児島本線「筑後船小屋駅」より徒歩1分
●バス「筑後船小屋駅前」下車徒歩1分
●車 九州自動車道「八女IC」より約10分、
「みやま柳川IC」より約15分
駐車場 103台(2時間無料/以降1時間毎100円)

ご予約・
詳細は
こちら

